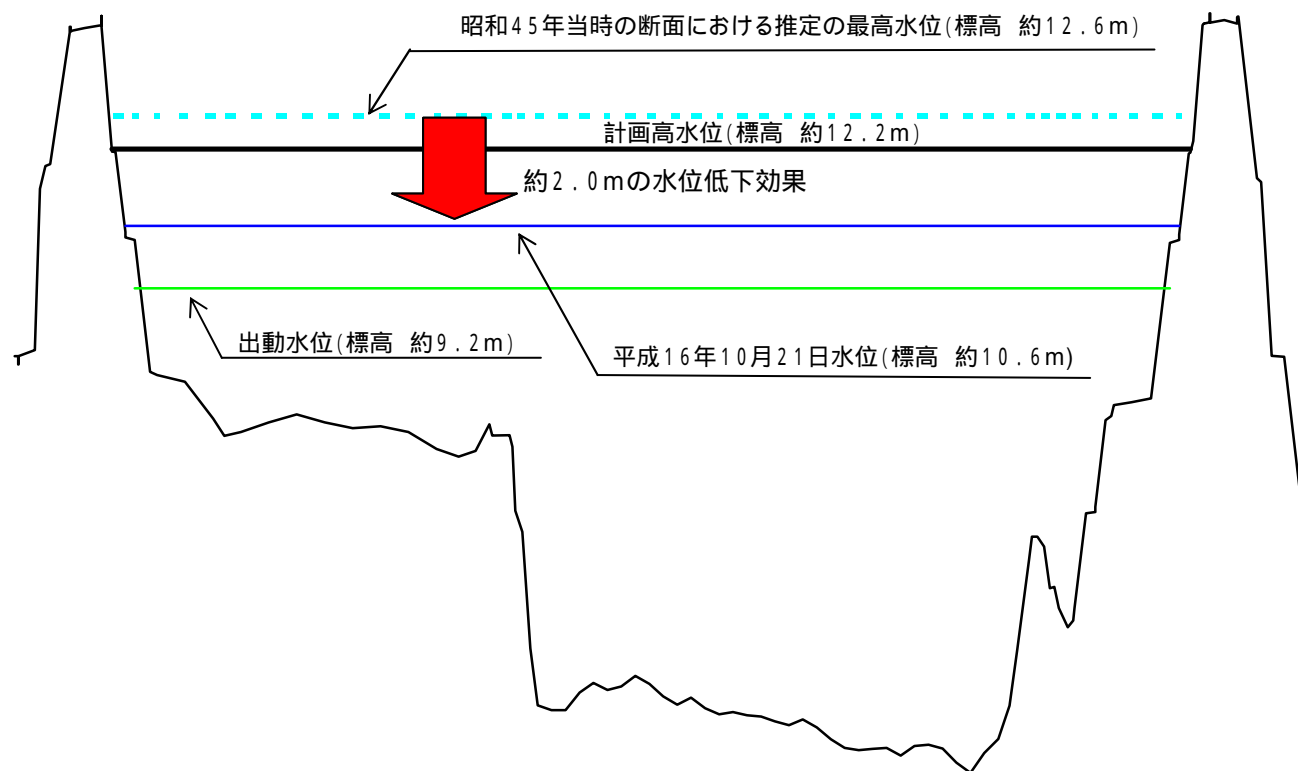


# 長良川浚渫による水位低下効果 (平成16年10月21日出水:墨俣地点)

平成16年10月の出水は、墨俣地点(河口から39.2km)流量で最大約8,000m<sup>3</sup>/s(暫定値)でした。平成16年10月出水と同じ流量が長良川の河道浚渫以前の昭和45年の河道に流れた場合の墨俣地点での水位を推定し、平成16年10月出水と比較してみました。

その結果、墨俣地点(河口から39.2km)では、平成16年10月出水では河道浚渫前に比べて約2.0mの水位低下効果があったものと推定され、浚渫工事による水位低下効果がなければ、計画高水位を超えていたものと推定されます。



ピーク流量、ピーク水位については暫定値

しゅんせつ前はS45、しゅんせつ後はH14,15河道を用いそれぞれの河道条件をふまえ、H16.10出水と同じ流量が流れたと仮定した場合のピーク水位を水理計算より算出し、比較

出動水位:水防団が巡視、点検を開始する水位